

# 病害虫発生速報

令和3年8月26日  
第12号

対象作物：畑作物、園芸作物共通

発信元 山形県病害虫防除所  
TEL 023-644-4241(内陸)  
0235-78-3115(庄内)

## 題名：ねぎでシロイチモジヨトウの被害が増加！ 圃場をよく見回り、被害初期に防除を！

### 1. 発生概況

- (1) 8月前半に実施した巡回調査（8月5～11日）の結果、ねぎでの平均被害株率は5.6%（平年：0.14%）と高い（図、写真左）。
- (2) 8月後半の巡回調査（8月23～26日）では、ねぎ圃場で卵塊が確認された（写真右）。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予報されており、シロイチモジヨトウの増殖及び活動が活発になると推測される。

### 2 防除対策

- (1) 本種は広食性で、ねぎの他、アスパラガス等の野菜、きく、トルコギキョウ等の花き、だいず等の畑作物等、多くの作物を加害するため、圃場をよく見回り、早期発見に努める。
- (2) 本種の卵は卵塊で産み付けられ、ふ化した幼虫はしばらく集団で過ごし、葉の表皮を残して白色のカスリ状に食害する。卵塊やふ化直後の幼虫の集団が見られる葉は取り除き、適切に処分する。
- (3) ねぎでは幼虫が葉の内部に潜り込むと防除効果が低下するため、圃場をよく見回り、被害初期（先端部が白く透けた時）に薬剤防除を行う。
- (4) 薬剤防除を行う場合は、幼虫の齢期が進むにつれ防除効果が低下するため、ねぎ以外の作物でも若齢幼虫期に、薬液が葉裏までかかるようていねいに散布する。

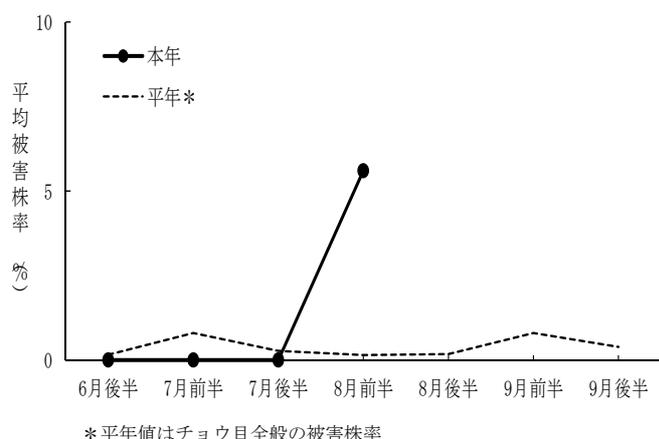


図 ねぎの巡回調査におけるシロイチモジヨトウ被害株率 (%) の推移

写真 左：ねぎ被害の様子  
右：卵塊

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。